

備えよう 緊急時の持ち出し品

被災したときには、次のようなものが欠かせません。災害に備え、普段から準備しておきましょう。

持ち出し品は欲張り過ぎず、最小限にすることがポイントです。リュックサックなどにまとめておきましょう。

また、少なくとも3日分の食料・

緊急持ち出しリスト

【非常持ち出し品】

阪神・淡路大震災で実際に役立つものを紹介します。

- ベスト20
- ① 懐中電灯
- ② 食料品（缶詰・乾パン・ビスケットなど調理不要なもの）
- ③ ラップ
- ④ ビニール袋
- ⑤ 小型ラジオ
- ⑥ トイレットペーパー
- ⑦ 乾電池
- ⑧ ウエットティッシュ
- ⑨ 手袋・軍手
- ⑩ 小銭
- ⑪ 使い捨てカイロ

- ⑫ 飲料水を備蓄しておきましょう。取り出しやすい場所に、まとめておくことが大切です。
- ⑬ 食料品（米・レトルトパック食品・カップ麺・梅干し・調味料・菓子類など）
- ⑭ 飲料水（ポリ容器などに給水しておき、こまめに取り換えましょう）
- ⑮ 固形燃料・卓上コンロ（ガスボンベを多めに用意しましょう）
- ⑯ カセットコンロ
- ⑰ 下着
- ⑱ 常備薬
- ⑲ 紙コップ
- ⑳ 飲料水
- ㉑ アルミ箔
- ㉒ 紙皿
- ㉓ 生理用品
- ㉔ 帽子



いざというときのために備えておきましょう



災害の被害を最小限に 食い止めるためには

地震災害では、多くの建物の倒壊のほか、道路や橋、電話・電気・水道などのライフラインも一斉に被害を受け、使用できなくなる予想されます。また、このような状況下での行政や消防の活動も大きく制限され、救助活動に支障をきたす恐れがあります。

被害を最小限に食い止めるためには、自分や家族の身は自ら守る「自助」、そして自分たちの地域は自分たちで守る「共助」の考えがとても重要になってきます。

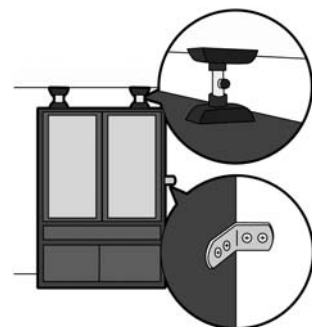
災害が起こる前に 備えよう！「自助」

自分や家族を守るためには、まず家の内外の安全確保が必要です。家庭での安全対策の主なものとしては、次の対策などがあります。

- 安全に避難できるように出入口付近に物を置かない。
- 家具などに転倒防止器具を取り付け、瓦やアンテナなど落下の危険性があるものは補強する。
- ブロック塀などは耐震状況を確認し、必要であれば補強工事を行う。

これらは、あくまでも一般的な安全対策です。日ごろから家族全員で

災害について話し合う場を設け、避難ルートや避難場所の確認、お互いの連絡方法について話し合いをしておくことが大切となります。



地域を自分たちで 守ろう！「共助」

各地の地震災害の際、被災地では隣近所の人命確認や被災状況の情報収集などを自主的に行った地区がありました。まさに、自分たちの地域は自分たちで守る「共助」の取り組みです。その共助の取り組みについて、より具体的に活動内容や役割などを取り決め、組織化したものが現在次々に結成されている各地の「自主防災組織」です。現在、市内では262行政区（市全302行政区の約87%）に自主防災組織が結成されており、それぞれの組織ごとに事業計画の策定や防災訓練を実施し、災害に備えています。

自主防災組織が有事の際、迅速かつ適切に行動するためには、定期的な訓練と話し合いを重ねることが必要です。

これに加え、地域住民が隣近所と



交流し、お互いの理解を深めておくことも、災害が発生した場合に役立つ備えの一つと言えます。

土砂災害に対する 防災対策も万全に

昨年の「岩手・宮城内陸地震」では、栗原市荒砥沢ダム付近で国内最大級の地滑りが発生したほか、土石流などによって尊い人命が失われました。また、水道や電気などのライフラインの寸断、孤立集落の発生で、未だに多数の人が避難所生活を余儀なくされています。

岩手・宮城内陸地震では地震に伴い土砂災害が発生しましたが、土砂災害の多くは降雨に伴うものです。

毎年、梅雨時期になると、全国各地で土石流・がけ崩れ・地滑りなどの災害が発生し、人命・財産に多くの被害を及ぼしています。国と県・市町村は毎年6月を「土砂災害防止月間」と定め、土砂災害の防止と被害の軽減を目指し、危険個所のパトロールや広報活動、砂防工事などの対策に取り組んでいます。それだけでは対策としては十分ではありません。

せん。これから土砂災害が多く発生する時期に入りますので、地震災害に加え土砂災害についても日ごろから次のことに注意して防災対策を進めることが重要です。

- ハザードマップなどで自宅周辺の危険な個所や避難路、避難場所、などを確認しておきましょう。
- 避難勧告や避難指示など避難するよう呼び掛けがあったら、すぐに避難しましょう。
- 高齢者などに日ごろから声を掛け合い、有事の際は一緒に避難しましょう。
- 周囲の前兆現象など、異変を感じたら早めに避難しましょう。

危険個所や避難場所などについては県土木事務所、または市に問い合わせください。また、県ではホームページで土砂災害危険個所図を配信していますので、自宅でも危険個所が確認できます。

訓練で「防災」を より身近なものに

地震についての知識や備えは、それを現場で生かす力があって初めて役に立ちます。「いざ」というときに備え、適切に行動できるようにするために、防災訓練など防災に関する行事には積極的に参加し、「防災」を身近なものにしましょう。

総合防災訓練を実施します

市では、高い確率で発生が予想されている宮城県沖地震に備え、総合防災訓練を実施します。各地区の会場でさまざまな訓練を実施しますので、いざというときのために積極的に参加しましょう。

なお、訓練に参加できない家庭においては、地震が発生したときに一番大切な身の安全確保や火の始末などを行う「一分間行動訓練」を各戸で実施してください。

【訓練内容】安全確保訓練、避難行動訓練、初期消火訓練、応急救護訓練など

【訓練会場】

地区	日時	会場
迫	6月14日（日）9：00～	消防防災センターほか
登米	6月14日（日）9：00～	登米総合運動公園
東和	6月7日（日）8：00～	東和総合運動公園
中田	6月14日（日）7：30～	宝江小学校
豊里	6月7日（日）8：00～	旧豊里小学校
米山	6月14日（日）8：30～	吉田運動場
南方	6月7日（日）9：30～	南方総合運動場
石越	6月14日（日）8：30～	石越防災センターほか
津山	6月6日（土）8：45～	柳津小学校において「第4回土砂災害全国統一防災訓練」「総合防災訓練」を併せて実施

【問い合わせ】総務部防災課 危機対策係 ☎0220（22）2130



▲▼昨年の訓練の様子

